

# 令和4年 下半期 大和商工会 小規模事業者景況調査報告書

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

- ア 対象地区 大和商工会管内小規模事業者  
イ 調査企業数 100 事業所  
ウ 回答企業数 97 事業所  
(回答率 97.0% )

### (2) 調査対象期間

- 令和4年7月～令和4年12月  
(調査時点 令和5年1月1日)

### (3) 調査方法

- 職員による巡回または窓口によるヒアリング調査

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	12	12.0%	12	12.4%
建設業	31	31.0%	31	32.0%
卸・小売業	24	24.0%	23	23.7%
飲食・宿泊業	16	16.0%	14	14.4%
サービス業	17	17.0%	17	17.5%
合計	100	100.0%	97	100.0%

※ 本報告書におけるDI値は、(増加件数×1 + 不変件数×0.5) ÷ 回答総数の百分率

## 2. 地域内産業全体の景況概要

令和4年上半期と比較すると、売上高は増加基調であるが、仕入単価が上昇。特に飲食宿泊業は販売価格に転嫁が難しく、又、人件費以外の経費増加も相まって採算性は売上高に比例せず低調な状況となっている。今後もこの傾向が懸念され先行きが見通せず予断を許さない状況である。

### 【後継者の状況】

製造業50.0%、建設業64.5%、卸・小売業78.3%、飲食・宿泊業85.7%、サービス業82.4%の事業所で後継者なしと回答

後継者あり	27事業所	27.8%	(令和4年上半期：30.0%)
後継者なし	70事業所	72.2%	(令和4年上半期：70.0%)

### 【売上高】

前年同期比は27.8%の事業所で減少。前期比は21.6%の事業所で減少。今後の見通しは27.8%の事業所で減少予測である。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
25	45	27

DI値 48.97

#### 前期比

増加	不変	減少
40	36	21

DI値 59.79

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
16	54	27

DI値 44.33

### 【採算】

前年同期比は30.0%の事業所で悪化。前期比は23.7%の事業所で悪化。今後の見通しは29.9%の事業所で悪化予測である。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
16	52	29

DI値 43.30

#### 前期比

好転	不変	悪化
28	46	23

DI値 52.58

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
14	54	29

DI値 42.27

### 【仕入単価】

前年同期比83.5%の事業所で上昇。前期比は75.3%の事業所で上昇。今後の見通しは70.1%の事業所で上昇予測である。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
81	16	0

DI値 91.75

#### 前期比

上昇	不変	低下
73	24	0

DI値 87.63

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
68	29	0

DI値 85.05

### 【販売（客）単価】

前年同期比45.4%の事業所で上昇。前期比は43.3%の事業所で上昇。今後の見通しは33.0%の事業所で上昇予測である。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
44	44	9

DI値 68.04

#### 前期比

上昇	不変	低下
42	49	6

DI値 68.56

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
32	56	9

DI値 61.86

### 【資金繰り】

前年同期比12.4%の事業所で悪化。前期比は11.3%の事業所で悪化。今後の見通しは18.6%の事業所で悪化予測である。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
6	79	12

DI値 46.91

#### 前期比

好転	不変	悪化
11	75	11

DI値 50.00

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
5	74	18

DI値 43.30

### 【雇用動向】

前年同期比16.5%の事業所で不足。前期比は16.5%の事業所で不足。今後の見通しは15.5%の事業所で不足予測である。

#### 前年同期比

過剰	適正	不足
1	80	16

DI値 42.27

#### 前期比

過剰	適正	不足
2	79	16

DI値 42.78

#### 今後の見通し

過剰	適正	不足
2	80	15

DI値 43.30

### 【景況判断】

前年同期比30.9%の事業所で悪化。前期比は24.7%の事業所で悪化。今後の見通しは29.9%の事業所で悪化予測である。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
16	51	30

DI値 42.78

#### 前期比

好転	不変	悪化
27	46	24

DI値 51.55

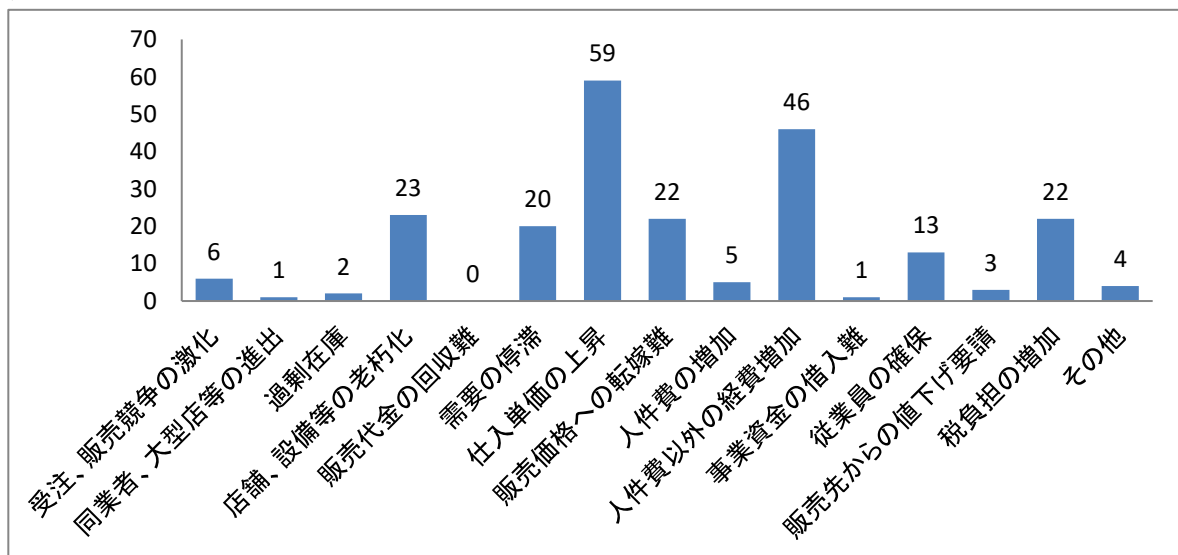
#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
15	53	29

DI値 42.78

### 【経営上の問題点】

1番目の問題点は「仕入単価の上昇」、2番目の問題点は「人件費以外の経費増加」、3番目の問題点は「店舗、設備等の老朽化」となっている。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 製造業

今期の製造業の景況は、「売上DI」は前年同期比70.8、前期比70.8、今後の見通し62.5。「採算性DI」は前年同期比58.3、前期比62.5、今後の見通し62.5。「資金繰りDI」は前年同期比50.0、前期比50.0、今後の見通し50.0。「景況判断DI」は前年同期比62.5、前期比66.7、今後の見通し62.5であった。「雇用動向DI」は前年同期比41.7、前期比41.7、今後の見通し41.7と若干労働力不足。「仕入単価DI」は前年同期比95.8、前期比91.7、今後の見通し87.5と上昇。「販売単価DI」は前年同期比75.0、前期比75.0、今後の見通し66.7。経営上の問題点1位「人件費以外の経費増加」2位「仕入単価の上昇」3位「税負担の増加」となっている。

#### (2) 建設業

今期の建設業の景況は、「売上DI」は前年同期比53.2、前期比71.0、今後の見通し37.1。「採算性DI」は前年同期比54.8、前期比65.1、今後の見通し40.3。「資金繰りDI」は前年同期比51.6、前期比56.5、今後の見通し41.9。「景況判断DI」は前年同期比48.4、前期比62.9、今後の見通し40.3であった。「雇用動向DI」は前年同期比35.5、前期比35.9、今後の見通し38.7と労働力不足。「仕入単価DI」は前年同期比98.4、前期比90.3、今後の見通し90.3と上昇。「販売単価DI」は前年同期比79.0、前期比74.2、今後の見通し66.1。経営上の問題点1位は圧倒的に「仕入単価の上昇」2位「人件費以外の経費増加」3位「税負担の増加」となっている。

#### (3) 卸・小売業

今期の卸小売業の景況は、「売上DI」は前年同期比39.1、前期比50.0、今後の見通し32.6。「採算性DI」は前年同期比32.6、前期比45.7、今後の見通し30.4。「資金繰りDI」は前年同期比43.5、前期比45.7、今後の見通し39.1。「景況判断DI」は前年同期比32.6、前期比34.8、今後の見通し26.1であった。「雇用動向DI」は前年同期比47.8、前期比47.8、今後の見通し47.8と若干労働力不足。「仕入単価DI」は前年同期比89.1、前期比87.0、今後の見通し82.6と上昇。「販売単価DI」は前年同期比58.7、前期比63.0、今後の見通し56.5。経営上の問題点1位は「仕入単価の上昇」2位「人件費以外の経費増加」3位「税負担の増加」となっている。

#### (4) 飲食・宿泊業

今期の飲食・宿泊業の景況は、「売上DI」は前年同期比42.9、前期比57.1、今後の見通し50.0。「採算性DI」は前年同期比35.7、前期比50.0、今後の見通し39.3。「資金繰りDI」は前年同期比42.9、前期比50.0、今後の見通し46.4であった。「景況判断DI」は前年同期比35.7、前期比50.0、今後の見通し42.8であった。「雇用動向DI」は前年同期比42.9、前期比46.4、今後の見通し42.9と若干労働力不足。「仕入単価DI」は前年同期比89.3、前期比89.3、今後の見通し89.3と上昇。「販売単価DI」は前年同期比71.4、前期比71.4、今後の見通し60.7。経営上の問題点1位は「仕入単価の上昇」2位は「需要の停滞」と「販売価格への転嫁難」となっているが、前回同様にコロナの終息がなければ大きく改善することはないと考えている方がほとんどである。

#### (5) サービス業

今期のサービス業の景況は、「売上DI」は前年同期比44.1、前期比47.0、今後の見通し55.9。「採算性DI」は前年同期比32.3、前期比32.4、今後の見通し50.0。「資金繰りDI」は前年同期比44.1、前期比44.1、今後の見通し44.1であった。「景況判断DI」は前年同期比38.2、前期比44.1、今後の見通し55.9であった。「雇用動向DI」は前年同期比47.1、前期比47.1、今後の見通し47.1で若干労働力不足。「仕入単価DI」は前年同期比82.4、前期比79.4、今後の見通し73.5。「販売単価DI」は前年同期比52.9、前期比58.8、今後の見通し58.8としている。経営上の問題点1位は「店舗、設備等の老朽化」2位「人件費以外の経費増加」3位「需要の停滞」となっている。



